

人権擁護法案に関する Q&A

Q1 人権を守るのは良いことなのでは？

A1 **平等な人権擁護であれば賛成です**。問題はそのためになされる「人権委員会」の権限の強さ・人権委員の人選の不透明さや曖昧さ・人数です。さらに、一部の人権を過剰に守る事はそれ以外の人権を踏み躪る事に繋がり、憲法で保障された「法の下での平等」に違反しています。

Q2 この法律によって私たちの生活はどんな影響を受けるの？

A2 法案に明確な「差別」の定義がされていないため、**拡大解釈される恐れ**があります。そのため、音楽・映画・漫画の表現がさまざまな規制を受ける可能性があります。直接的な個人への影響としては、Web サイト・Blog・雑誌への投稿の内容が規制されたり、事前に自主規制された情報しか得られなくなってしまう、真実を知ることができなくなる事があげられます。

Q3 マスコミがあまり報じないのはどうして？

A3 数年前にこの法案が審議されたときはマスコミの取材活動も規制の対象とされていたため、法律の成立を防がないとマスコミは情報源を失う危機に瀕していました。それに対し、今回の法案ではマスコミの取材活動に関する条項は「凍結」される見通しであり（法律が施行されてから5年後に予定されている見直しの時に凍結解除される可能性は残っています）、マスコミ自身が影響を受ける事はないためと考えられます。

Q4 別に普通の生活をすれば影響はないのでは？

A4 「差別」かどうかの基準は、人権擁護委員の判断にゆだねられています。したがって、ある日突然身に覚えの無い事で「調査」されたり、調査を拒否すれば全国に「差別者」として名前などを公開されるかもしれません。

Q5 人権委員に誤解されてから警察に相談するのは手遅れですか

A5 法律による罰金や財貨の押収は被害とは認められません。裁判は全国規模で名前や罪状が公開された後となり、多くの時間とお金を要します。例え裁判に勝ったとしても、一度偏見を持たれてしまうと名誉の回復が難しいことは、冤罪の被害者を見ても分かると思います。

.....

この法案について詳しく知りたい方は、次のサイトもご参照ください。

❶ 人権擁護法案ビラ配布の詳細

▶ <http://blog.livedoor.jp/mikannkajitu/>

❷ 人権擁護法案について (PC・携帯両対応)

▶ http://k.excite.co.jp/hp/u/ki_ki_chi_ga_i

❸ 人権擁護法案の全文 (法務省)

▶ <http://www.moj.go.jp/HOUAN/JINKENYOUGO/refer02.html>

2次元コード読み取り
対応の携帯では、❷
のサイトへ右のコード
でアクセスできます。



このビラがご不用でしたら、お持ち帰りになるか、ゴミ箱へお願いします。